

オプトアウト

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題(研究番号)	患者レジストリによる脊椎インストゥルメンテーション手術患者の登録調査
当院の研究責任者(所属)	茂手木 博之(整形外科)
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属)	日本脊椎インストゥルメンテーション学会 研究代表者 松山幸弘(浜松医科大学・整形外科)
研究の目的	インターネット上の脊椎インストゥルメンテーション手術登録システム(Japanese Spinal Instrumentation Society-Database:JSIS-DB)を用い、各種脊椎脊髄疾患に対して脊椎インストゥルメンテーション手術を行った患者さんの大規模データベースを構築します。そのデータベースを用いて、わが国における脊椎インストゥルメンテーション手術の疫学調査、安全性(合併症やインプラントの不具合など)や再手術率などの実態調査を行います。また、執刀医のスキル(経験年数)と手術時間、出血量、合併症発生率などとの関係も明らかにすることにより、脊椎インストゥルメンテーション手術の医療安全の向上に貢献できるエビデンスを確立します。
対象となる調査期間	2018年2月から2028年2月
対象となる患者様	上記期間に当院で脊椎インストゥルメンテーション手術を行った患者様
使用する情報、試料等([○]の項目を利用します)	[]血液、[]唾液、[]毛髪、[]病理組織、[]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[]臨床検査データ、 []その他(空白に記載)
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	個人情報情報を削除した上で、上記情報を日本脊椎インストゥルメンテーション学会へ提供します。
研究期間	2018年2月から2028年2月
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。
